

2004年10月26日

【参考資料・リリース抜粋版日本語訳】

報道関係各位

ノバルティス2004年1～9月期および第3四半期業績発表： 売上高・利益ともに2桁成長を達成し、利益率も拡大

バーゼル発、2004年10月21日

- 2004年1～9月の9カ月間の売上高は前年同期比14%増（現地通貨ベース9%増）の207億米ドルに。そのうち医薬品の売上高は16%増（現地通貨ベース11%増）、コンシューマーヘルスは10%増（現地通貨ベース5%増）を達成
- 世界の医薬品市場が低迷する中、循環器およびオンコロジー領域の好調により、医薬品の売上高は引き続き2桁の高い成長率を実現し、市場シェアもさらに拡大
- コンシューマーヘルスの売上高は、OTCならびに医療用栄養食品の2桁成長がサンドのジェネリック事業の低成長を補い、米ドルベースで前年同期比10%増加
- 好業績と効率的な資源配分により、営業利益は売上高よりも高い伸長率を示す。前年同期比17%増加し、50億米ドルに
- 当期純利益は20%増加し、44億米ドルに。1株当たり当期純利益（EPS）は21%増加し、1.79米ドルに

主要数値

2004年1～9月の9カ月間

	2004年1～9月		売上高 比(%)	2003年1～9月		前年同期比(%)	
	百万米ドル	億円		百万米ドル	売上高 比(%)	米ドル ベース	現地通貨 ベース
売上高	20,669	22,529		18,134		14	9
医薬品	13,528	14,745		11,641		16	11
コンシューマーヘルス	7,141	7,783		6,493		10	5
営業利益	5,005	5,455	24.2	4,283	23.6	17	
当期純利益	4,389	4,784	21.2	3,656	20.2	20	
1株当たり当期純利益 (ADS¹ベース)	米ドル 1.79	1.95		米ドル 1.48		21	

¹ American Depositary Shares; 米国預託株式

- 特に記載のない場合、前年同期比の増減率はすべて米ドルベースの比較であり、説明はすべて1～9月の9カ月間の業績に関するものです。
- 日本円は、便宜上1米ドル=109円の為替レート（2004年1～9月の期中平均レート）で換算したものです。

2004年第3四半期（2004年7～9月の3カ月間）

	2004年第3四半期			2003年第3四半期		前年同期比(%)	
	百万米ドル	億円	売上高 比(%)	百万米ドル	売上高 比(%)	米ドル ベース	現地通貨 ベース
売上高	7,057	7,692		6,210		14	9
医薬品	4,646	5,064		4,041		15	11
コンシューマーヘルス	2,411	2,627		2,169		11	7
営業利益	1,717	1,871	24.3	1,469	23.7	17	
当期純利益	1,547	1,686	21.9	1,277	20.6	21	
1株当たり当期純利益 (ADSベース)	米ドル 0.63	0.68		米ドル 0.52		21	

ノバルティスの会長兼最高経営責任者ダニエル・バセラ（Dr. Daniel Vasella）は、2004年1～9月期の業績について次のようにコメントしています。「2004年1～9月期に2桁の力強い業績成長を達成できたことをうれしく思います。高い成長率は、引き続き市場シェアと営業利益率を拡大した医薬品事業に牽引されました。2004年も過去最高を更新するペースで順調に業績が進捗しています」

売上高

グループの売上高は14%増の207億米ドルに

2004年1～9月に達成した前年同期比14%（現地通貨ベース9%）の売上高の増加は、医薬品とコンシューマーヘルス双方の好業績によりもたらされました。コンシューマーヘルスは、OTCと医療用栄養食品の売上増加が、低成長のサンドのジェネリック事業の影響を吸収しました。売上高を押し上げた主要因は販売量の増加であり、前年同期比の増加率に対し7ポイントの寄与がありました。為替変動による影響は5ポイント、事業買収ならびに値上げは、それぞれ1ポイントの影響を与えました。

医薬品の売上高は16%増加し、135億米ドルに

プライマリーケア領域、スペシャリティ領域ともに主力製品が好調で、医薬品の売上高は2桁成長を実現（前年同期比16%増、現地通貨ベース11%増）。米国を含むすべての地域で、市場を上回る成長率を達成しました。売上高の増加率に対し、販売量の増加は10ポイント、為替変動は5ポイント、値上げは1ポイントの寄与がありました。

プライマリーケア製品（マチュア製品を含む）の売上高は、前年同期比14%増（現地通貨ベース9%増）となりました。高血圧症治療薬の「ディオバン」と「ロトレル」が好調であった循環器領域の売上拡大（21%増、現地通貨ベース17%増）が主な要因です。その他「ラミシール」「トリレプタール」「ゼルノーム/ゼルマック」「エクセロン」「エリデル」も売上拡大に貢献しました。

オンコロジー、移植・免疫、眼科で構成されるスペシャリティ領域の売上高は、前年同期比22%増（現地通貨ベース16%増）となり、医薬品売上高に占める割合は、前年同期の31%から33%に上昇しました。オンコロジーの売上高は、27%（現地通貨ベース21%）増加。主力製品の「グリベック」「ゾメタ」「フェマーラ」が、患者さんにとっての新たなベネフィットを証明する新しい試験データに支えられ、力強い売上成長を記録しました。眼科の「ビスタイン」の売上高は前年同期比24%の増加を示しました。

地域別に見ると、米国（12%増）が医療用医薬品市場の伸びを上回る高い成長を継続したほか、日本（18%増、現地通貨ベース9%増）、欧州（19%増、現地通貨ベース9%増）においても、厳しい市場環境の中、堅実な伸びを示しました。IMSヘルスによると、2004年1～8月の世界のヘルスケア市場におけるノバルティスのシェアは4.48%となり、前年同期比の4.40%からさらに上昇しました。同期間における全世界の医薬品市場の成長率は7%でした。

コンシューマーヘルスの売上高は10%増加し、71億米ドルに

2004年1～9月の売上高は、OTCと医療用栄養食品の2桁成長に支えられ、前年同期比10%（現地通貨ベース5%）の伸びを示しました。抗菌薬「ラミシール外用剤」、制酸剤「マロックス」、制ガス剤*Gas-X*などのOTC主力製品が好業績を達成したほか、医療用栄養食品の売上高が前年同期から33%増加しました。医療用栄養食品は、ミード・ジョンソン社の成人向け医療用栄養食品事業の買収が、前年同期比の売上増加率を26ポイント押し上げました。ジェネリック事業のサンドは、比較ベースとなる2003年の売上高が*AmoxC*の発売により好調だったことや価格競争の影響により成長が鈍化し、米ドルベースで2%増、現地通貨ベースで3%減となりました。コンシューマーヘルス全体で見ると、販売量の増加で2ポイント、為替変動で5ポイント、値上げで1ポイント、事業買収で2ポイントが、それぞれ売上高の増加に寄与しました。

経営陣の変更

現在医薬品グローバル生産部門の責任者で、ノバルティス ファーマ経営委員会メンバーのアンドレアス・ルンメルト（Andreas Rummelt）が、2004年11月1日付でバセラ直属のサンドの新しい責任者となることが決まりました。ルンメルトは1985年にノバルティスに入社し、研究開発の様々なマネジメント職を歴任してきました。医薬品グローバル生産部門の責任者として、彼は品質および生産性の向上や、在庫管理面で成果を上げました。医薬品グローバル生産部門の責任者の後任は、現在米国医薬品事業の責任者を務めるトーマス・バン・ラー（Thomas van Laar）です。

営業利益

2004年1～9月の9カ月間

	2004年1～9月			2003年1～9月		前年同期比(%)
	百万米ドル	億円	売上高 比(%)	百万米ドル	売上高 比(%)	米ドルベース
医薬品	4,002	4,362	29.6	3,249	27.9	23
コンシューマーヘルス	997	1,086	14.0	990	15.2	1
法人収益/費用（純額）	6	6		44		
営業利益 計	5,005	5,455	24.2	4,283	23.6	17

2004年第3四半期（2004年7～9月の3カ月間）

	2004年第3四半期			2003年第3四半期		前年同期比(%)
	百万米ドル	億円	売上高 比率(%)	百万米ドル	売上高 比(%)	米ドルベース
医薬品	1,387	1,511	29.9	1,137	28.1	22
コンシューマーヘルス	278	303	11.5	326	15.0	-15
法人収益/費用（純額）	52	56		6		
営業利益 計	1,717	1,871	24.3	1,469	23.7	17

グループの営業利益は、売上高の伸びを上回る17%増を記録し、50億米ドルに

2004年1～9月期の営業利益の伸長率は売上高の伸びを上回り、営業利益率も前年同期の23.6%から24.2%へと0.6ポイント改善しました。前年同期比で11%の増加にとどまった売上原価の改善が主な要因です。さらに、販売・マーケティング費も、主に医薬品での改善により0.5ポイント減少しました。研究開発費は12%増加しましたが、医薬品の開発においてマイルストーンの支払いが減少した結果、売上高に対する比率は前年同期の14.7%から14.4%に減少しました。一般管理費も売上高の伸びを下回る11%の増加にとどまり、売上高に対する比率は5.3%となりました。その他収益/費用における費用は、事業売却とヘッジによる収入の減少、サンドの営業権の減損額7,300万米ドル、ならびにアニマルヘルス事業の棚卸資産評価減1,800万米ドルが主な要因となり、2億4,200万米ドル増加しました。

医薬品の営業利益は23%増の40億米ドルに

医薬品の営業利益は、売上高の伸び率をはるかに上回る23%増となり、営業利益率も前年同期から1.7ポイント改善し、29.6%となりました。生産性の向上ならびにプロダクト・ミックスの改善により、売上高に対する売上原価の比率が前年同期の14.5%から13.6%に0.9ポイント改善したことが主な要因です。売上高に対する販売・マーケティング費の比率は、販売部門の生産性向上により0.7ポイント減少し、32.1%となりました。ノバルティス バイオメディカル研究所への投資が主な要因となり、研究開発費は13%増となりましたが、前年同期に比べ開発費の先行投資とマイルストーンの支払いが減少した結果、売上高に対する比率は前年同期の18.8%から18.3%に低下しました。その他収益/費用における費用は、一般管理費が売上高よりも低い伸び率にとどまったものの、ヘッジおよび事業売却による収入が前年同期に比べ減少した結果、39%の増加となりました。2003年はFiorina製品ラインの売却により、1億7,800万米ドルの事業売却による収入がありました。第4四半期は、大規模な第相臨床試験の開始などの理由により、特に販売・マーケティング費と研究開発費が増加する見込みです。これにより、第4四半期の営業費用は前年同期と比べ大幅に増加する見込みです。

コンシューマーヘルスの営業利益は1%増の9億9,700万米ドル

営業利益は前年同期比1%の増加となりました。OTCとチバビジョンが力強い業績拡大を実現しましたが、ドイツのジェネリック事業に関連したサンドの7,300万米ドルの減損、アニマルヘルスにおける1,800万米ドルの棚卸資産評価減と、ミード・ジョンソン社の医療用栄養食品事業買収に伴う1,300万米ドルの一括支払い費用により相殺されました。ジェネリック市場を取り巻く厳しい現状を踏まえ、さまざまな改善策を現在検討中であり、第4四半期に報告する予定ですが、追加的な減損を免れない状況です。

グループの当期純利益は20%増の44億米ドルに

2004年1～9月の9カ月間の当期純利益は、順調な事業拡大と関連会社からの利益の大幅な増加により、前年同期比20%増の44億米ドルとなりました。

グループの今後の見通し（不測の事態を除外）

ノバルティスは、事業全般にわたる好業績が原動力となり、2004年通期でも期初の予想を上回る好調な売上高と利益の伸びを実現できる見込みです。グループとしては、2004年通期で1桁台後半の売上高の伸びを予想しています。医薬品事業に関しては、現地通貨ベースで1桁台後半から2桁台前半の売上伸長率となる見込みです。

不測の事態がなければ、ノバルティス グループの2004年通期の営業利益と当期純利益は、昨年から大きく増加する見込みです。

医薬品事業ならびに主要製品のハイライト

プライマリーケア

「ディオバン」(前年同期比30%増、現地通貨ベース24%増、米国20%増)が米国をはじめとする世界各国で市場成長を上回る伸びを示し、引き続き力強い売上成長を記録しました。米国でのシェアは、高血圧症治療薬市場で過去最高の9%、急速に市場が成長しているアンジオテンシン受容体ブロッカー(ARB)領域で首位の38.3%を獲得しました(2004年9月現在)。ARB領域は2004年の現在までの時点で18%も市場が拡大し、今後数年間にわたり医薬品市場で最もダイナミックな成長を遂げると予測されています。「ディオバン」の伸びは、大規模臨床試験の結果や、世界各国での高用量製剤の市場投入、さらに最近米国で開始した高血圧症に関する認知を高めるためのプログラムなどが追い風となりました。

米国で最も売れている高血圧症治療の配合剤「ロトレル」(米国で11%増)は、市場の伸び(現在までで6%増)を大きく上回る2桁成長を続けています。好調な売れ行きは、政府が従来よりも低い目標血圧値をガイドラインに設定したことや、これまでに高血圧症の治療を受けていたにもかかわらず目標値にとどかず、より効果的な治療法を必要としていた多くの患者さん(治療患者の70%に及ぶ)に支えられました。「ロトレル」は現在米国のみで販売されており、米国で開始した高血圧症の認知向上プログラムにも後押しされました。

爪白癬治療のトップブランド「ラミシール」(21%増、現地通貨ベース16%増、米国27%増)は、米国市場でのシェアが過去最高の66.3%にまで上昇しました(2004年9月現在)。リフレッシュしたDTC広告キャンペーンと、疾患の認知度向上に向けた啓発プログラムにより、特に好調な米国を中心に大幅な売上増となりました。

アトピー性皮膚炎の医療用ブランド薬でナンバーワンの「エリデル」(55%増、現地通貨ベース53%増、米国40%増)は、市場成長を上回る売上高とシェアの拡大を記録しました(2004年8月現在、IMSトップ16カ国で「エリデル」58%増に対し、市場は8.6%の伸び)。

「ゼルノーム/ゼルマック」(118%増、現地通貨ベース117%増、米国137%増)は、便秘型過敏性腸症候群(IBS)の画期的治療薬です。2002年7月の発売以来、現在までに米国の250万枚を含む、世界で350万枚以上の「ゼルノーム/ゼルマック」の処方箋が発行されました。2,660人の被験者が参加した過敏性腸症候群で過去最大のZENSAA試験の結果では、同剤は女性の反復投与による治療に非常に有効であり、さらに、生活の質(QOL)の観点からも有意な改善が見られました。

スペシャリティ領域

オンコロジー

フィラデルフィア染色体陽性の慢性骨髄性白血病(CML)のあらゆる病期と消化管間質腫瘍(GIST)の治療薬「グリベック」(47%増、現地通貨ベース38%増、米国24%増)は、欧州CML市場でのさらなる浸透と平均一日用量の増加により、第3四半期に伸び率が拡大しました。最近の『ランセット』で発表されたGISTで過去最大の試験の結果では、標準量の1日あたり400mgを服用した患者さんに比べ、1日に800mgを服用した患者さんでは、病態進行までの期間の有意な改善が見られました。「グリベック国際患者支援プログラム」は、現在67カ国で展開しており、このプログラムがなければこの画期的治療薬を手にすることが困難な、世界で9,500人以上の患者さんに「グリベック」が提供されています。

悪性腫瘍の骨転移治療に最も多く使われているビスホスホネート注射剤の「ゾメタ」(21%増、現地通貨ベース17%、米国9%)は、米国におけるメディケアの償還方針や、乳がんや多発性骨髄腫の治療においてすでに高い浸透率を達成しているにもかかわらず、市場シェアを維持し、大型製品への道を順調に歩んでいます。「ゾメタ」は、前立腺がんと肺がんの患者さんの治療にビスホスホネート注射剤を使うという点で進展を見せています。日本では、この第3四半期において、悪性腫瘍骨転移に伴う骨病変を適応症として承認申請されました。

閉経後進行乳がん治療の第一選択薬「フェマール」(65%増、現地通貨ベース58%増、米国121%増)は、乳がんの手術を受け、標準的なタモキシフェンによるアジュバント療法を終えた閉経後の患者さんの治療に使用され、そのベネフィットがより多くの患者さんに評価された結果、高い売上成長を継続しました。また、MA-17試験の最終解析結果が、2004年6月に開催された米国臨床腫瘍学会(ASCO)で報告されました。そのデータによると、タモキシフェンによる標準治療後に「フェマール」によるアジュバント治療を行った場合、再発リスクが42%減少することが示されました。

眼科

欧米における滲出型加齢黄斑変性(AMD)治療のトップ製品である「ピスタイン」(24%増、現地通貨ベース19%増、米国15%増)が引き続き市場に浸透した結果、前年同期比29%増(現地通貨ベース23%増)の売上高を達成しました。米国では、新たな病変タイプにもメディケア償還の対象範囲が広がったことが、好業績につながりました。また、医療費抑制策という逆風の中、欧州での売上も好調を維持しました。

移植

「ネオール」と「サンディミュン」の売上高が横ばい(2剤合計で7億4,200万米ドル。前年同期比0%増、現地通貨ベース6%減)となり、移植事業部の売上高は2%増(現地通貨ベース5%減)となりました。ウィーンで行われた国際移植学会において、ノバルティスは移植医療への貢献20周年を祝いました。最近発売されたmyforticは、現在米国を含む40カ国以上で承認を取得済みです。myforticの売上高は、ドイツならびにスイスにおける市場シェア拡大と、米国での処方拡大により増加しました。また、画期的な細胞増殖シグナル阻害剤「サーティカン」の発売に向けた活動が数カ国で実施されています。20%(現地通貨ベース14%)の売上増加を見せた「シムレクト」は、9月にイギリスの国立臨床研究所(NICE)から使用推奨を受けました。

主な承認申請ならびに臨床開発ハイライト

ノバルティスは、マサチューセッツ州ケンブリッジにあるグループの新しい研究拠点の構築を予定通り進めています。766人の研究者が新たに採用され、新しい研究所が正式にオープンしました。

ノバルティスは、主要な開発プロジェクトならびに承認申請の2004年の目標を達成できる見込みです。第3四半期のハイライトは次のとおり。

- 「ゼルノーム」は、65才以下の男女における慢性特発性便秘の追加適応で、2004年8月にFDAから承認を受けました。米国では約450万人が常に便秘に悩まされていると推測されており、年間百万人が緊急治療室を訪れ、何千人もが入院に至っています。その他、この製品は米国以外では「ゼルマック」という販売名で知られていますが、10月にEU当局に承認申請を行いました。

- VALIANT (VALsartan In Acute myocardial iNfarcTion) 試験で得られたポジティブなデータを基に、イギリスおよび中南米のいくつかの国を含む22カ国で、「**ディオバン**」が心筋梗塞後の適応で承認されました。ノバルティスは、相互認証方式によりEUの14カ国ならびにアイスランドでこの適応の承認を取得したいと考えています。さらに、米国、フランス、スイス、オーストラリアおよびアジア、中南米の数カ国でも、販売承認を申請中です。米国では最近、FDAに対し追加データを提出しました。FDAによる審査は3カ月間延長されることとなりました。
- ぜんそくの治療に使われる初めてのヒト化抗体「**ゾレア**」は、5,500人の患者さんでの臨床試験結果を基に、6月にEU当局に承認申請されました。臨床試験の結果では、「ゾレア」は適切に症状がコントロールされていない重症のぜんそく患者さんに対するAdd-on療法として検討されるべき有効な治療の選択肢であることが示されました。「ゾレア」は、Genentech社およびTanox社と共同開発され、2003年6月に米国で承認されました。発売以来28,000人以上の患者さんが「ゾレア」を処方されたと推測されています。「ゾレア」はオーストラリア、ニュージーランド、ブラジルでも承認されています。
- 8月、術後5年間のタモキシフェン治療を終了した閉経後乳がん手術患者に対する「**フェマーラ**」の使用が、欧州で初めてスイスで承認されました。引き続き9月にはイギリスで承認されたほか、2004年6月に優先審査の指定を受けた米国では、2004年10月末までにFDAの承認が得られると期待しています。
- ゾレドロン酸は、異常な骨の成長を誘発する慢性疾患であるパジェット病の治療薬として米国およびEUで申請中です。この化合物はまた、年に1度の投与で作用が持続する骨粗しょう症の治療薬としても開発が進められています。
- EUのCommittee for Medicinal Products for Human Use (CHMP)は7月、EU全加盟国25カ国ならびにノルウェー、アイスランドにおける**Emselex** (米国での販売名：**Enablex**) の過活動膀胱 (OAB) の治療薬としての承認を推奨する肯定的見解を採択しました。過活動膀胱は世界の人口の約16%が罹患していると推測される一般的な症状です。
- TARGETの主要試験である、選択的COX-2阻害剤に関する過去最大の安全性試験の結果は、8月の『ランセット』で発表されました。それによると、「**プレキシジ**」は一般的によく使われる非ステロイド性抗炎症薬 (NSAIDs) 2剤との比較において心血管の安全性の面で統計的な有意差を示すことなく、消化器系の症状を有意に減少させました。この結果は、慢性的に通常の用量を飲み続けた場合でも、「プレキシジ」がリスク/ベネフィットの観点から好ましい薬剤であることを示しています。現在、欧州で相互認証方式による「プレキシジ」の審査が進行中です。米国では2007年の再申請を目指しています。
- CONFIRM 1の患者登録の完了に続き、抗がん剤**PTK787**の結腸直腸がんへの作用を調べる2つのピボタル試験のうちの一つである、CONFIRM 2への患者登録が終了しました。PTK787は、シエーリング社と共同開発されています。米国FDAへの承認申請は2005年後半を予定しています。
- 小児ならびに成人に対する画期的な注意欠陥多動性障害 (ADHD) の治療薬の**Focalin XR**徐放性カプセルは、米国で承認申請されました。承認されれば、成人で

の使用が許可された初めてかつ唯一の1日1回投与のメチルフェニデート製剤となります。

第4四半期においてノバルティスは、レニン阻害剤aliskiren (SPP100/高血圧症治療薬)の初めての第 相試験データを入手する予定です。これは「ディオバン」の有効成分であるバルサルタンとの併用による降圧効果を検討する試験です。

さらに、早期アジュバント治療への応用に対する、アロマターゼ阻害薬「フェマーラ」(乳がん治療薬)とタモキシフェンとの5年間の比較試験であるBIG 1-98試験のデータが、2005年1月に発表される予定です。

オンコロジー領域では、鉄キレート剤ICL670(鉄過剰症治療薬)の第 相試験のデータも、2004年末までに公表予定です。

ニュースの流れに沿ったパイプライン情報の公表を行うため、ノバルティスは2004年11月30日に予定されていたR&D Dayを取り止め、通期業績の発表日である2005年1月20日、ならびにそれ以降の日に、研究開発関連のアップデートを数回に分けて行うことにしました。

コーポレート

法人収益/費用(純額)

法人収益の純額は、前年同期の4,400万米ドルに対し、2004年1~9月期は600万米ドルとなりました。

金融収益(純額)

2004年1~9月期の金融収益の純額は、低金利が主たる要因となり、前年同期の3億9,500万米ドルから大幅に減少し、1億6,100万米ドルとなりました。株式およびオプションの売却による収入もあり、流動資金の純額に対するリターンは、前年同期の8.0%に対し3.3%となりました。

関連会社からの利益

関連会社からの利益は全体的に大きく伸び、1億3,700万米ドルとなりました。インフルエンザワクチンの製造停止処分を受けたことからカイロン社の収益が低下し、カイロン社からの収入は前年同期の1億700万米ドル対し、2004年1~9月期は3,600万米ドルとなりました。2004年第4四半期は、カイロン社からの追加的な収益がないと見込んでいます。また、ロシュ社への投資による収益は、8,800万米ドルとなりました。前年同期は3億3,200万米ドルの費用を計上しました。

強固なバランスシート

2004年8月、ノバルティスは3度目の自己株式取得プログラムの完了と、スイス証券取引所のセカンド・トレーディング・ラインを介して第4次の自己株式取得プログラムを開始したことを発表しました。2004年に2,280万株、10億米ドルの自己株式を取得し、第3次の自己株式取得プログラムが終了しました。さらに、第4次プログラムの開始以降、現在までに1,060万株、5億米ドルの自己株式を取得しました。2004年トータルでは、自己株式取得プログラムとファースト・トレーディング・ラインで追加的に取得した株式を含め、3,640万株、17億米ドルの自己株式を取得しました。次の年次株主総会で、自己株式取得プログラムにより取得した株式の消却の承認を株主の皆様をお願いする予定です。

2004年9月30日現在のグループの資本は2004年期首から6億米ドル増加し、310億米ドルとなりました。これは、グループの当期純利益の44億米ドルと時価評価による調整額の3億米ドルの収入が、自己株式取得による17億米ドルの減少、支払い配当金20億米ドル、累積外貨換算調整額4億円の合計を上回ったためです。2004年9月30日現在の負債比率は0.18:1となり、2003年12月31日現在の0.20:1から改善しました。

ノバルティスは、引き続き健全なバランスシートを堅持し、スタンダード&プアーズとムーディーズから最高のトリプルAの格付を得ている、金融機関を除く数少ない欧州企業の一つであり続けました。ノバルティスは1996年の設立以来、トリプルAの格付を継続しています。

キャッシュフロー

順調な事業の拡大と運転資本の積極的な管理が、営業活動からのキャッシュフローをさらに拡大し、前年同期の48億米ドルから50億米ドルとなりました。

引き続きダウジョーンズ・サステナビリティ・インデックスの対象銘柄に

ノバルティスは、引き続きダウジョーンズ・サステナビリティ・インデックスの組入対象銘柄となりました。ノバルティスグループは、1999年9月に社会的責任投資に関する世界的なベンチマーク指標が導入されて以来、毎年このインデックスの対象銘柄に指定されています。業績・環境・社会的責任の面から評価される企業となるというノバルティスの姿勢が反映され、ノバルティスは、ダウジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス (DJSI World) と、さらに的を絞ったダウジョーンズSTOXXサステナビリティ・インデックス (DJSI STOXX) の対象銘柄となっています。

免責条項

本リリースには、現時点における将来の予想と期待が含まれています。従って、その内容に関しては、また、将来の結果については、不確実な要素や予見できないリスクなどにより、将来の結果が現在の予想と異なる場合があることをご了解下さい。なお、詳細につきましては、ノバルティスが米国証券取引委員会に届けておりますForm 20-Fをご参照下さい。

ノバルティスは、医薬品とコンシューマーヘルスにおける世界的リーダーです。ノバルティスグループ全体の2003年の売上高は249億米ドル(約2兆8,600億円)で、当期純利益は50億米ドル(約5,770億円)、研究開発費は38億米ドル(約4,370億円)でした。スイス・バーゼル市に本拠を置くノバルティスは、約81,000人の社員を擁しており、世界140カ国以上で製品が販売されています。詳細はインターネットをご覧ください。www.novartis.com

今後の報告予定

2005年1月20日 2004年業績発表およびR&Dアップデート
次のR&D情報の更新は、2004年の通期業績発表時に行います。

2005年3月1日	年次株主総会
2005年4月21日	第1四半期業績発表
2005年7月14日	上半期ならびに第2四半期業績発表
2005年10月18日	1～9月期ならびに第3四半期業績発表

本リリースは、英語版オリジナルの抜粋版日本語訳です。連結貸借対照表、連結キャッシュフロー計算書、注記などは省略しています。これらの内容は英語版オリジナルをご参照下さい。
http://www.novartis.com/downloads/Q3_2004_E.pdf

連結損益計算書（監査対象外）

2004年1～9月の9カ月間

	2004年1～9月		2003年1～9月	前年同期比	
	百万米ドル	億円	百万米ドル	百万米ドル	%
売上高	20,669	22,529	18,134	2,535	14
売上原価	-4,743	-5,169	-4,286	-457	11
粗利益	15,926	17,359	13,848	2,078	15
販売・マーケティング費	-6,373	-6,946	-5,678	-695	12
研究開発費	-2,973	-3,240	-2,664	-309	12
一般管理費	-1,088	-1,185	-978	-110	11
その他収益/費用	-487	-530	-245	-242	99
営業利益	5,005	5,455	4,283	722	17
関連会社からの利益	137	149	-212	349	
金融収益（純額）	161	175	395	-234	-59
税引き前利益および少数株主利益	5,303	5,780	4,466	837	19
税金	-902	-983	-760	-142	19
少数株主利益	-12	-13	-50	38	-76
当期純利益	4,389	4,784	3,656	733	20
平均発行済み株式数（百万株）	2,453.9		2,474.8		
1株当たり当期純利益（米ドル）	1.79	1.95	1.48		21
希薄化後1株当たり当期純利益（米ドル）	1.78	1.94	1.45		23

2004年第3四半期（2004年7～9月の3カ月間）

	2004年第3四半期		2003年第3四半期	前年同期比	
	百万米ドル	億円	百万米ドル	百万米ドル	%
売上高	7,057	7,692	6,210	847	14
売上原価	-1,613	-1,758	-1,500	-113	8
粗利益	5,444	5,933	4,710	734	16
販売・マーケティング費	-2,109	-2,298	-1,850	-259	14
研究開発費	-1,062	-1,157	-878	-184	21
一般管理費	-361	-393	-338	-23	7
その他収益/費用	-195	-212	-175	-20	11
営業利益	1,717	1,871	1,469	248	17
関連会社からの利益	111	120	25	86	344
金融収益（純額）	35	38	96	-61	-64
税引き前利益および少数株主利益	1,863	2,030	1,590	273	17
税金	-317	-345	-271	-46	17
少数株主利益	1	1	-42	43	
当期純利益	1,547	1,686	1,277	270	21
平均発行済み株式数（百万株）	2440.7		2478.0		
1株当たり当期純利益（米ドル）	0.63	0.68	0.52		21
希薄化後1株当たり当期純利益（米ドル）	0.63	0.68	0.51		24

事業部門別売上高（監査対象外）

2004年1～9月の9カ月間

	2004年1～9月		2003年1～9月	前年同期比(%)	
	百万米ドル	億円	百万米ドル	米ドルベース	現地通貨ベース
医薬品	13,528	14,745	11,641	16	11
コンシューマーヘルス	7,141	7,783	6,493	10	5
サンド	2,178	2,374	2,138	2	-3
一般用医薬品（OTC）	1,443	1,572	1,273	13	7
アニマルヘルス	547	596	502	9	3
医療用栄養食品	836	911	607	38	31
乳幼児用栄養食品	1,087	1,184	1,013	7	8
チバビジョン	1,050	1,144	960	9	3
売上高 計	20,669	22,529	18,134	14	9

2004年第3四半期（2004年7～9月の3カ月間）

	2004年第3四半期		2003年第3四半期	前年同期比(%)	
	百万米ドル	億円	百万米ドル	米ドルベース	現地通貨ベース
医薬品	4,646	5,064	4,041	15	11
コンシューマーヘルス	2,411	2,627	2,169	11	7
サンド	722	786	675	7	2
一般用医薬品（OTC）	478	521	443	8	3
アニマルヘルス	194	211	163	19	15
医療用栄養食品	289	315	206	40	35
乳幼児用栄養食品	371	404	349	6	7
チバビジョン	357	389	333	7	2
売上高 計	7,057	7,692	6,210	14	9

事業部門別営業利益（監査対象外）

2004年1～9月の9カ月間

	2004年1～9月			2003年1～9月		前年同期比 (%)
	百万米ドル	億円	売上高 比(%)	百万米ドル	売上高 比(%)	
医薬品	4,002	4,362	29.6	3,249	27.9	23
コンシューマーヘルス	997	1,086	14.0	990	15.2	1
サンド	213	232	9.8	351	16.4	-39
一般用医薬品（OTC）	293	319	20.3	216	17.0	36
アニマルヘルス	42	45	7.7	61	12.2	-31
医療用栄養食品	71	77	8.5	54	8.9	31
乳幼児用栄養食品	206	224	19.0	188	18.6	10
チバビジョン	185	201	17.6	137	14.3	35
部門管理費	-13	-14		-17		
法人収益/費用（純額）	6	6		44		
営業利益 計	5,005	5,455	24.2	4,283	23.6	17

2004年第3四半期（2004年7～9月の3カ月間）

	2004年第3四半期			2003年第3四半期		前年同期比 (%)
	百万米ドル	億円	売上高 比(%)	百万米ドル	売上高 比(%)	
医薬品	1,387	1,511	29.9	1,137	28.1	22
コンシューマーヘルス	278	303	11.5	326	15.0	-15
サンド	4	4	0.6	94	13.9	-96
一般用医薬品（OTC）	105	114	22.0	82	18.5	28
アニマルヘルス	1	1	0.5	21	12.9	-95
医療用栄養食品	30	32	10.4	18	8.7	67
乳幼児用栄養食品	76	82	20.5	70	20.1	9
チバビジョン	67	73	18.8	48	14.4	40
部門管理費	-5	-5		-7		
法人収益/費用（純額）	52	56		6		
売上高 計	1,717	1,871	24.3	1,469	23.7	17

補足資料：2004年1～9月の9カ月間の売上上位20医薬品の売上高（監査対象外）

製品名	適応症	米国			米国以外			合計			
		百万米ドル	億円	前年同期比	百万米ドル	億円	前年同期比	百万米ドル	億円	前年同期比	
				現地通貨 ベース (%)			現地通貨 ベース (%)			米ドル ベース (%)	現地通貨 ベース (%)
ディオバン/コディオバン	高血圧症	1,009	1,099	20	1,268	1,382	27	2,277	2,481	30	24
グリベック	慢性骨髄性白血病	268	292	24	900	981	43	1,168	1,273	47	38
ラミシール（グループ）	真菌症	403	439	27	458	499	8	861	938	21	16
ゾメタ	悪性腫瘍による骨合併症	463	504	9	325	354	31	788	858	21	17
ネオール/サンディミュン	移植	135	147	-16	607	661	-4	742	808	0	-6
ロトレル	高血圧症	661	720	11	0	0	0	661	720	11	11
サンドスタチン（グループ）	先端巨大症	267	291	15	335	365	11	602	656	18	13
レスコール/ローコール	高コレステロール血症	207	225	-3	345	376	3	552	601	6	0
ボルトレン（グループ）	炎症/疼痛	7	7	-13	451	491	-1	458	499	5	-1
トリレプタール	てんかん	285	310	31	91	99	30	376	409	32	31
トップ10製品 計		3,705	4,038	15	4,780	5,210	17	8,485	9,248	21	16
ビスダイン	加齢黄斑変性	154	167	15	170	185	22	324	353	24	19
エクセロン	アルツハイマー病	135	147	-2	178	194	23	313	341	15	10
ミアカルシック	骨粗しょう症	182	198	-2	103	112	-12	285	310	-3	-6
テグレートル（CT/XR錠含む）	てんかん	75	81	-11	208	226	4	283	308	4	-1
フェマーラ	乳がん	115	125	121	156	170	28	271	295	65	58
エリデル	アトピー性皮膚炎	205	223	40	51	55	160	256	279	55	53
フォラジール	ぜんそく	9	9	29	225	245	2	234	255	11	3
レボネックス/クロザリル	治療抵抗性の統合失調症	54	58	-16	180	196	1	234	255	4	-4
ゼルマック/ゼルノーム	過敏性腸症候群	192	209	137	35	38	49	227	247	118	117
ファムビル	抗ウイルス	121	131	9	70	76	3	191	208	10	7
トップ20製品 計		4,947	5,392	17	6,156	6,710	16	11,103	12,102	21	16
その他製品		527	574	-18	1,898	2,068	-5	2,425	2,643	-3	-8
医薬品売上高 計		5,474	5,966	12	8,054	8,778	10	13,528	14,745	16	11

補足資料：2004年第3四半期(2004年7～9月)の売上上位20医薬品の売上高(監査対象外)

製品名	適応症	米国			米国以外			合計			
		百万米ドル	億円	前年同期比	百万米ドル	億円	前年同期比	百万米ドル	億円	前年同期比	
				現地通貨			現地通貨			米ドル	現地通貨
				ベース(%)			ベース(%)			ベース(%)	ベース(%)
ディオバン/コディオバン	高血圧症	351	382	22	437	476	25	788	858	28	24
グリベック	慢性骨髄性白血病	93	101	29	318	346	42	411	447	47	39
ラミシール(グループ)	真菌症	158	172	22	186	202	6	344	374	17	13
ゾメタ	悪性腫瘍による骨合併症	151	164	-4	111	120	25	262	285	9	6
ネオラル/サンディミュン	移植	41	44	-18	199	216	-5	240	261	-3	-8
ロトレル	高血圧症	212	231	7	0	0	0	212	231	7	7
サンドスタチン(グループ)	先端巨大症	95	103	20	112	122	10	207	225	20	15
レスコール/ローコール	高コレステロール血症	77	83	-7	118	128	8	195	212	6	1
ボルタレン(グループ)	炎症/疼痛	2	2	0	157	171	2	159	173	7	2
トリレプタール	てんかん	105	114	28	32	34	28	137	149	29	28
トップ10製品 計		1,285	1,400	13	1,670	1,820	16	2,955	3,220	19	15
ビスダイン	加齢黄斑変性	56	61	19	58	63	23	114	124	27	22
エクセロン	アルツハイマー病	46	50	0	61	66	21	107	116	15	10
ミアカルシック	骨粗しょう症	63	68	-3	33	35	-17	96	104	-7	-8
テグレートル(CT/XR錠含む)	てんかん	26	28	-13	72	78	5	98	106	2	-2
フェマーラ	乳がん	46	50	130	55	59	43	101	110	80	74
エリデル	アトピー性皮膚炎	68	74	31	16	17	119	84	91	42	40
フォラジール	ぜんそく	3	3	50	76	82	7	79	86	16	8
レボネックス/クロザリル	治療抵抗性の統合失調症	19	20	-17	59	64	-3	78	85	-1	-7
ゼルマック/ゼルノーム	過敏性腸症候群	71	77	97	12	13	17	83	90	80	78
ファムビル	抗ウィルス	43	46	2	23	25	-1	66	71	3	2
トップ20製品 計		1,726	1,881	15	2,135	2,327	15	3,861	4,208	19	15
その他製品		169	184	-19	616	671	-3	785	855	-2	-7
医薬品売上高 計		1,895	2,065	11	2,751	2,998	10	4,646	5,064	15	11

四半期分析

四半期別の主要数値

	2004年第3四半期		2004年第2四半期		増減	
	百万米ドル	億円	百万米ドル	百万米ドル		%
売上高	7,057	7,692	6,973	84		1
営業利益	1,717	1,871	1,794	-77		-4
金融収益(純額)	35	38	98	-63		-64
税金	-317	-345	-321	4		-1
当期純利益	1,547	1,686	1,549	-2		0

地域別の売上高

	2004年第3四半期		2004年第2四半期		増減	
	百万米ドル	億円	百万米ドル	百万米ドル		%
米国	2,881	3,140	2,827	54		2
欧州	2,506	2,731	2,522	-16		-1
その他	1,670	1,820	1,624	46		3
合計	7,057	7,692	6,973	84		1

事業部門別の売上高

	2004年第3四半期		2004年第2四半期		増減	
	百万米ドル	億円	百万米ドル	百万米ドル		%
医薬品	4,646	5,064	4,572	74		2
コンシューマーヘルス	2,411	2,627	2,401	10		0
サンド	722	786	737	-15		-2
一般用医薬品(OTC)	478	521	467	11		2
アニマルヘルス	194	211	185	9		5
医療用栄養食品	289	315	289	0		0
乳幼児用栄養食品	371	404	367	4		1
チバビジョン	357	389	356	1		0
合計	7,057	7,692	6,973	84		1

事業部門別の営業利益

	2004年第3四半期		2004年第2四半期		増減	
	百万米ドル	億円	百万米ドル	百万米ドル		%
医薬品	1,387	1,511	1,369	18		1
コンシューマーヘルス	278	303	384	-106		-28
サンド	4	4	125	-121		-97
一般用医薬品(OTC)	105	114	83	22		27
アニマルヘルス	1	1	22	-21		-95
医療用栄養食品	30	32	21	9		43
乳幼児用栄養食品	76	82	70	6		9
チバビジョン	67	73	67	0		0
部門管理費	-5	5	-4	-1		25
法人収益/費用	52	56	41	11		27
合計	1,717	1,871	1,794	-77		-4